

2012/09/20

文責 原子力・放射線部会幹事 根岸孝行

日本技術士会 原子力・放射線部会

日本原子力学会 原子力研究・教育小委員会 共催

「第5回技術士の集い」概要報告

日時 ; 平成24年9月20日(木) 12:00~13:00

場所 ; 広島大学 東広島キャンパス N会場
(日本原子力学会 2012年秋の大会)

司会進行 ; 根岸孝行

参加者 ; 29名

配付資料 ①原子力・放射線部会の活動
②福島支援における技術士の役割
③日本原子力学会 教育委員会 技術者教育小委員会の活動について(案)

1. 原子力・放射線部会の活動(桑江良明 部会長)

桑江部会長より、東日本大震災発生以降、1年半に渡る原子力・放射線部会の活動に関する紹介があった。この席で、これまでの活動は持ち掛けられた案件が中心であったが、これからは技術士会他部会や日本原子力学会と連携しながら、部会活動の範囲を広げて行きたいとの意思表示があった。

第4回技術士の集い以降、主な活動状況は以下のとおり。

- ① CPD 教材の作成
- ② 浜崎幹事の日本原子力学会 教育委員会 技術者教育小委員会 委員長への就任
- ③ 桑江部会長の原子力安全分科会への参画 等

この他、今後、機会があれば、日本原子力学会の福島事故調査委員会に参画し、技術士としての専門性を生かした意見を述べて行く予定である。



2. 技術士の集い開催にあたって

(工藤和彦 原子力研究・教育小委員会委員長 九州大学教授)

工藤先生より、第5回技術士の集いを開催するにあたって、今後の技術士への期待と要望に関するお言葉を頂いた。主な内容は以下のとおり

- ① 技術士試験の受験者数の減少が目立っており、多くの人が受験するよう企業内等で

技術士原子力・放射線部門のアピールをお願いしたい。また、どう解釈すればよいかわかりにくいところだが合格率が下がっており、過去問題の解答を充実させる等、合格率が上がるような工夫を考え実践して頂きたい。

- ② 福島事故以降、積極的に色々な支援活動等を実施して頂いているが、技術士の活動が原子力の信頼回復にプラスになるよう、これからも継続的に実施して欲しい。また、原子力・放射線部門の開設から 10 周年の節目を迎えようとしているが、支援活動等の実動に関して学会内への発信や学会誌への投稿等、そろそろ技術士として学会発表や紙面上での活動も本格化させて欲しい。

3. 原子力安全と人材（岡本孝司 東京大学教授）

岡本先生より、「原子力安全と人材」という内容で技術士へのメッセージを頂いた。

講演では、岡本先生が考える原子力安全の鍵、及び人材育成について紹介があり、特に技術士に関しては、人のクォリティー確保、や人材育成の観点から非常に活用できる存在



であるとのことがあった。また、今後、ライセンスの重要性を再認識し、技術士原子力・放射線部門を国際ライセンスに対応させることや規制事務所長・事業所長は炉主任又は技術士を取得していることを前提条件にするなど、活性化させる仕組みを構築し、実現に向けて取り組んで欲しいとのこと意見を頂いた。

4. 福島支援における技術士の役割（大橋正雄 副部長）

大橋副部長より、東京電力福島第一原子力発電所の事故から 1 年半が経過した中で、技術士原子力・放射線部会としての活動、役割について紹介があった。

紹介の中では、部会活動が期待に応えられているか等のテーマが取り上げられており、「組織に所属した技術士が、今後、どのような活動ができるか」、「除染等、知識・経験不足がない部分をどのように強化し、活動の範囲を広げるか」、「多くの方の参加・協力を求め組織的な活動に展開して行く必要性」などについて、参加している技術士の方々への問い掛けがあった。



5. 日本原子力学会 教育委員会 技術者教育小委員会の活動について（案）

（浜崎学 幹事）

浜崎幹事より、技術者教育小委員会委員長に就任するにあたり、その活動方針や内容に関する紹介があった。

紹介の中で、技術者としての継続的研鑽の重要性や福島事故後の原子力の国民からの信頼回復のために技術士のライセンスの活用することが望まれるとの話があり、また、多くの技術者が本委員会に参加して欲しいとの要望があった。

その他にも、技術士原子力・放射線部門内の放射線利用分野の受験者数の減少について紹介があり、存続させるためには、技術士資格の紹介や受験対策などを充実させ、活性化して行きたいとの話があった。



6. その他

今回の第5回技術士の集いでは、講演内容が多く、参加者による意見交換会が実施できなかった。

この反省を踏まえ、日本原子力学会 2013 年春の年会（近畿大学）では、講演と共に意見交換会も充実させて行いたい。

更に、今回、両先生からのご提案を少しでも実現していくよう今後検討していきたい。

